

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより  
逢いてエ

# 雑報 綴文

いろいろ差があるから面白い  
いろいろな人がいるから楽しい

No. 535

2020年2月

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- あの山の向こうに ②
- 「ナナムの家」再訪 4
- 除草剤グリホサートの問題 6
- 綴文ミステリーいろいろ 7
- 「重耳」ほか 8
- 白便りから 11
- サイの神見学会 19
- 山仕事(1月、大平) 25
- ケ・い・じ・ぼん 26

核の脅威、  
軍拡競争、  
加速する温暖化。

只争じゃない。  
手をこまぬいてはいられない。



23日、米ワシントンで発表された残り100秒を示す「終末時計」=時事(1/24日) (東京7/1)

終末時計 最短の「100秒」

この見本誌をみて新たに

「読んでみようか」という方は、

2019年3月までの 毎月 ~~250円~~ 250円を

郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 掛い込んで下さい。

1月26日現在の  
会員数 248名

題 字 敬 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)

カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※ この号の切手は、  
日本芸術院創設100周年



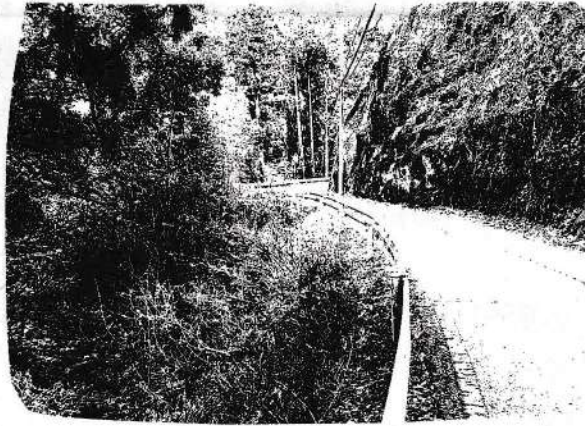
# 山仕事 (1月、大平)

今年初めての山仕事。1月6日(月)、雪を冠った富士を眺めながら、伊藤泰江、原田、山崎さんと4名。敷地駅で鈴木正士、久米さんに迎えられる。深澤明男・富士代さんの豊田農園へ。暮れに送ってもらった餅米代の支払い。しかし、不在。

買物に入った近鉄ストアでバラさん(榊原幸雄さん)に遭遇。正士さんちに突ると日の短いこの頃は、もう夕方。

ゆめ海鮮バジルソース、ホウレンソウのごま和え、ブリの刺し身、白菜と大根のスープ、青フリの酢のもの、網焼き(原木シタケ、厚揚げ、紀文のハンペン、ネギ、イワシ天)、マグロのぬた、そして正士さんの手打ちそばを久米さんのだしにかきして。この日は、岐阜・火畑のそば粉。

1月7日。仕事始めとあって、久米さんが用意してくれたお神酒で無事を願う。手始めに、一日2本の市民バスのドライバーから注文のあった、見通しきかないカーブの整理。写真左手前にあった竹やぶと写真にうつっていない手前スギ林の下枝を払う。これでだいがよくなった。



カメラ・正士さん

その後、敷地川を渡って、対岸の林へ。

まず、12月15日、「ホリデー・フォレスト」の皆さんが伐っておかり木になっていたヒノキの枯木。



これが仲々の難物だった。写真左側、斜めになっているカシの木の枝にからちりくいこんでいる。左は崖でそばに寄り付かない。根元を3mほど切断し軽くしておとしテレホーシで引張り張るが、ダメ。川を渡るため小さい方(500kg)を拵ってきたため、引ききれないのだ。諦めてカシを切ろうとした寸前、やっとはずれてくれた。これがスギだったら

枝が折れたらろうが、ヒノキの枝は粘り強く容易には折れないのだ。

(昼)、思いがけず、康江さんと久米さんがぼくの誕生祝いを用意してくれた。大きなすし桶にマグロの清け丼。そのまわりを生い心のバラの花とサラダが飾る。





そして玉子焼き。皆で♪ハッピーバースデーと歌ってくれる。想定外で感謝。

午後は、手分けして斜面に散らばる風倒木などを整理。その途中、下で作業していた山ちゃんに声をかけるのを怠り、ぼくが玉切りした丸太が転がり落ちて山ちゃんへ。とっさに山ちゃんがとび上がったのと腰に吊るしていたヘルメットが緩衝材となって大怪に至らず。上下作業は戒めているのに、反省。

15時、予報どおりに雨が降り出す。あいた時間を利用して、英ちゃんは正士さんと昨年暮れの治療代を支払いに。ぼくは山ちゃんに運転してもらい、深澤さんに餅米代の支払に。



ゆ) トリミき肉の市松焼き、カキフライ (ぼくは、特別にノコおまけ)、千切り長芋、聖子の煮物、紅白なます、大根とエビの煮物、クサヤ(山ちゃん提供)、おそば。

ケーナで雑唱団。

1月8日(水) 前日からの雨。予期して公民館で卓球。30年ぶりのぼくは、まるでタイミングが合わず、空振りの連続。康江、久米さんを含む4人に歯が立たない。

(昼) カレーライス、ブロッコリとカリフラワーのサラダ。

いつもの列車で帰宅。

- ローカル線にのろう、
- 東北・福島へ行こう、
- なるべく平日に。



山中圭子さん  
(ザ・シニアジャパン)

◆ 西瀬田楽 ◆ 只今、山崎さんとぼく。

- 2月1日(火・休)。高尾9:24-10:55 甲府10:58-12:25 嵐谷12:28-15:09 天竜峡 天竜峡15:11-16:12 水窪(みくぼ)。雪山を眺めながらゆっくり。

「田楽の星」で仮眠。翌日は、正士さんちの山仕事に。

◆ 山仕事を楽しむ会 ◆

- ① 2月12(水)~14日 ② 3月2(月)~4日 ③ 4月23(水)~26日。

◆ 三浦ハイク「かっぱ伝説の金田あたり」 ◆

- 2月19日(水)、10:30「三浦海岸」集合(日さままくら切席ぞ)、雨なら2月21日(金)。

◆ 斑尾高原 スキー&スノーシュー ◆

- 3月11(水)~13日、「ロッテ基本」泊。11日午中スキー、12日スノーシュー(レンタル有り)



安東明子文

\* 「元気で遊ぼう2020」「ぼくの年末年始」など、次号(?)へ。

- 新型インフルエンザが急をつけて。せきおは時はマスク、26
- 誤字が多いのは、校正しないからで、勘弁して下さい。

28~9 息子の家族ときぬ川へ  
18 テニス  
31 テニス  
20 お母

※ 昨年6月のせきお文を三橋口じやない